

## 現状と課題

- 月案・週案日誌の作成、お便りの作成等の他、支援の必要な園児への支援計画やアレルギー対応、学校や専門機関への連絡書類等、園児の情報に係る保育士の書類作成業務が増加している。
- 保育士不足の影響によって、様々な勤務形態の職員が配置されることになり、勤務体制が複雑化している現状があり、職員の情報共有が困難である。
- 市内外への転入転出による保育所の転園等があった場合、園児に関する情報の引継ぎが、園児に合った教育・保育の提供、子育て支援の充実に不可欠である。

## 予算額、スケジュール

項目	予算額 (千円)	主な内容
消耗品費	390	プリンタートナー
委託料	44,022	ネットワーク構築、保守業務他
使用料	10,740	システム等使用料
備品購入費	596	レーザープリンター他
<b>合計</b>	<b>55,748</b>	

時期	作業内容
令和4年7月	補正予算成立
令和4年7月	提案事業者募集（公募型事業提案方式による）
令和4年8月	事業者の審査（提案書、プレゼンテーション）・決定
令和4年9～12月	導入工事、職員研修
令和5年1月～	システムの運用開始

## 導入の目的

※デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用

- 公立保育所に通園する児童の保護者の利便性の向上
- 保育士の事務効率化と業務負担の軽減

## 事業効果（成果指標等）

※デジタル田園都市国家構想推進交付金実施計画書より抜粋

① システム利用満足度（保育サービスに対する満足度）	75%	⇒	90%
② データ連携が可能である市内保育施設数	0施設	⇒	8施設
③ データ連携が可能である他市町数	0団体	⇒	1団体
④ 保育士（正職員）の超過勤務の減少時間数	9,320時間	⇒	7,456時間
	※22年度末	⇒	23年度末

## 事業概要

## 《事業概要と効果》

市立保育所11か所に「**保育所業務支援システム**」を導入する。

- ① 保護者と保育士が、子どもの健康状態や延長保育の申請等の必要な情報を双方向でリアルタイムに正確に伝達できる。
- ② 帳票入力等に係る保育士の業務負担を軽減し、より子どもと向き合う時間や心理的なゆとりを増やす。
- ③ 蓄積された園児の記録データに基づき、子どもの発達状況に合わせた保育を実施し、保育の質の向上を図る。

## 《導入サービスイメージ図》

## 【現在】

(登園・降園管理サービス)



## 【サービス導入後】



登園・降園時間が集中し、  
手書き記載のため混雑が発生  
手書き帳票を確認し、データ入力

スムーズな登園・降園の実現  
データで保育士・保護者が容易に確認  
データ編集により保育時間の確認が容易に